



# 広報 利尻

## 人口と世帯数

世帯数	1,555
人口	7,245
男	3,643
女	3,602

昭和48年5月1日現在  
(住民基本台帳登録人口)

昭和48年5月20日発行

発行者 利尻町役場

No. 39 号



とじて保存しましょう。いつか役に立ちます

去る9日老人クラブ仙寿会では緑をもっと大切に、の声から、  
勤労奉仕で100本の苗木を一日かかって公民館のまわりに植樹しました。

70才から最高89才までのおとしよりがクワやスコップで穴を掘り一本一本  
ていねいに植えていました。

### 利尻町民憲章

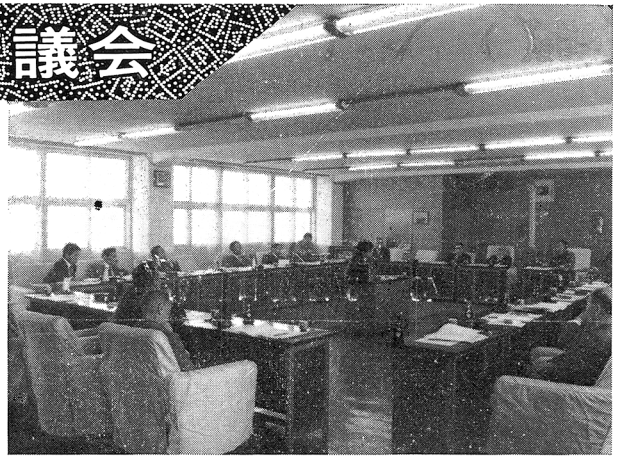
- 一、元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
- 一、自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 一、未来をつくる、子どものしあわせなまちをつくりましょう。

# 5

 48

# 定例第1回 利尻町議会

## 広域化の確立と 調和のとれた 町づくりを



ことし第一回目の定例町議会は、3月16日招集され同日日本会議を開き

会期を7日間と決めたあと、町長の新年度に対する「町政執行方針」の

表明があり、新年度予算案、関係条例案など審議し、いずれも原案どお

り可決成立し3月22日閉会しました。

小田桐町長の昭和48年度行政執行方針の要点は次のとおりです。

### 本年度の行政執行方針

#### 第一 総務・文教・厚生関係

◎広域行政の確立と共同処理については、前年度既に清掃事業一部事務組合をつくり、ゴミ処理については六月一日オープンを目的に準備をすすめておりますが、し尿処理については場所の選定がおくれようやく鬼脇地区に決定を見たので本年度は速やかに着工して事業を開始するよう促進を図ります。

◎学校給食センターについては、両町民の多年にわたり熱望していたところであり、本年度から実施するよう広域行政推進協議会において決定を見たので、一部事務組合を設立して本年度中に実施するよう準備をすすめています。

◎消防業務の広域化については、いち早く利礼三町の間に於いて協議されていたところであるが、本年二月ようやく政令指定の内示があったので四月より消防業務一部事務組合をつくり、本部を本町において、三町の消防業務の充実、郷土を災害から守る防災体制をすすめています。

◎また医療センターと老人福祉施設については両町広域処理の五

本の柱の中に入っては居るが、住民感情や医師確保の困難から実現の時期等については予測はできないが、その機運を高めつつ具体化を図っていかねばならない。

◎過疎対策については離島という特殊な地域のみならず、しかも大きな時世の流れに抗すべくなく押し流されているが、これを食い止めるためには、国の温かい援助も必要であるが、自主的な立地条件に即した過疎対策がなければならぬので、先年、過疎地域に指定された際、策定した「過疎地域振興計画」に基づき年次を逐うて、環境の整備などを推進して住みよい環境づくりに努め民生の安定に資したい。なお、根の浅い原始産業の脆さから来る過疎の現象をくり返しつつ今日に至っており、人口の減少は必ずしも過疎とはつながらないが、人口と資源の関係を十分に検討し、島に残って地場産業を守る人達の所得を高める施策を検討し、産業への意欲を持たせ、魅力ある郷土とすることが大切であるので積極的にすすめた

◎昭和四十八年度一般会計当初予算は、概ね総合予算主義を採り前年度からの継続事業又は、年間に完成を要する事業については、これを計上し、また老人福祉、乳幼児などの医療無料化に要する経費なども計上した。

その他の事業で起債、補償金等特定財源を見込む事業については財源の確定をまって後日追加補正することとした。

前年度当初予算四億一千六百三十万円に対し、本年度は六億二千五百万円で五〇〇%の伸びを示し、才入については税の増収は期待できず、地方交付税に依存せざるを得ない状態から才入不足を生じないよう配慮して編成した。

#### ◎利尻島史の編纂

和人が定着して百年、厳しい自然条件と闘いながら開発に従事した先人の足跡を尋ね、過去を省み現実を正視し、輝かしい未来を築く参考資料として東利尻町と共同で編纂するようすすめた。

#### ◎綱紀の粛正

最近各地で公務員の非行や交通事故が発生して住民の不信を買っており、服務規律の厳守を期するとともに研修をすすめる資質の向上を図りたい。

◎医師の確保を期するとともに広域医療圏の問題も促進させた

◎清掃事業の広域処理を本年度完成させる。漁港港湾や住宅周辺の清掃を行い生活環境の美化運動を計りたい。

◎昨年同様成人病検診など健康診断の実施をすすめたい。

◎道や国にさががけて乳幼児（三才児以下）の医療無料化を四月より所得制限なしで実施する。

◎住民の保健休養施設として島内随一の国民宿舎の八月五日オープンを目指して第二期工事を完成させる。

◎二十五人乗りのマイクロボスを購入し霊柩自動車として利用する。

## 第二 産業・経済

### 関係

第二次構造改善の線に沿って主産業である漁業に重点をおき関連する産業の発展を期し、漁民の所得の増大に資したい。

その主なる事業、漁場の開発、漁場改良、増養殖事業、近代化施設。

### ◎栽培漁業の振興

大型魚礁の投入四五〇〇個。岩礁爆破杏形五、〇〇〇立米、仙法志五、〇〇〇立米。あわび種苗移植、昆布養殖施設 杏形、仙法志漁組。水揚荷捌所施設 仙法志漁組一基。漁船用補給施設 杏形漁

組一基。雑草駆除。

◎農畜産の振興 酪農基盤の整備として牛舎の増築に対する資金の斡旋、初産牛ホルスタイン五頭導入、肉牛の飼育奨励、大型ビニールハウスの基盤整備として大規模

農園の造成を奨励、農畜産振興資金の融資、畜産経営管理指導あわせて農道の整備、農業振興地域の指定等農畜産振興策を講ずる。

◎林業の振興 民有林の造林奨励治山事業としてササントマリ沢復旧、蘭泊神社沢、久連・元村地区雪崩防止林造成、栄浜防風林造成、森林愛護少年団の育成など実施したい。

◎中小企業の振興については、資金の融資枠の拡大、小樽・利尻間の航路の改善強化の促進、小樽との経済交流の促進等もすすめたい。

◎観光開発については、国立公園の早期昇格を推進するとともに国民宿舎の大巾活用を図りたい。

## 第三 建設・土木

### 関係

### ◎港湾・漁港の整備

本年度予算要求額杏形港二億三千二百万円 仙法志漁港修築一億四千万円。蘭泊漁港改修二千八百十万円。御崎漁港局改千九百八十万円。新湊

漁港整備四百九十七万円。御崎漁港災害復旧千七百万円。そのほか杏形港船揚場一部改良。種富町船港施設設置。神居船揚場整備等。

### ◎危険校舎の改築

仙法志小学校七千七百六十六万三千元。住宅の建設教員住宅三戸、職員住宅一〇二戸。公営住宅の補修整備。道々利尻島線の整備。久連道路改良二二〇米。久連舗装九二〇米。蘭泊交通安全施設六四五米。種富町交通安全施設五九一米。

### ◎町道の整備

仙法志鬼腸線道路改良三五〇米。道形横潤岬道路改良。仙法志神社舗装。利尻登山線沿道の整備美化。海岸保全事業 仙法志神磯二四九米。仙法志市街地海岸保全の船揚場補修二カ所。

## 第四 消防業務の広域化強化

消防職員の服務の規律を厳正にし、技術の習熟。火災の予防査察を実施し、防火思想の普及を期したい。

## 第五 交通安全対策

交通指導員による街頭指導を強化するとともに、警察、交通安全協会などと厳密な連絡をとり事故

防止につとめる。

道路標識等の整備をしたい。

## 第六 砕石事業の健全経営について

本年度は鶴泊港の災害復旧工事や、利尻空港の整備ならびに島内の道路、漁港、港湾等の公共事業などかなりの供給見通しに立っており砕石の需要は増加の傾向である。本年度生産計画は前年度より

五千立米多い四万三千八百立米とし、販売量では四万五千五百立米と前年度より八千八百立米多い量を見込んだ。四月早々に着業し予定の事業量を消化したい。

企業の健全化につとめ、需要に

応じて生産量を定め出来るだけ過大投資を避け、合理化により経費の節減を図る。

この事業は危険度の高い仕事であるので操業の安全を期したい。

## 職員の異動発令

町では去る四月五日付で職員の人事異動を行ないました。

なれるまでの間いろいろご不便をかけることと思いますがよろしくご協力下さい。

異動になった職員及び新規採用職員は次のとおりです。

◎水道課長 大島正治（総務課財政係長）▽総務課財政係長 白幡忠雄（税務課課長）▽税務課課長 斉藤俊明（砕石事業所）▽民生課社会係長 田島順逸（民生課国保衛生係長）▽民生課国保衛生係長 柴田喜義（産業課農林商工係長）▽産業課農林商工係長 寺山明（建設課建築係）▽建設課土木係長 米本末松（仙法志支所次長）▽水道課業務係長 山本敏（水道課水道係）▽国民宿舎支配人 糸谷克明（水道課長）▽仙法志支所次長 沢谷勉（建設

課土木係長）▽総務課財政係 北島利行（出納係）▽民生課社会係 田尻隆志（総務課財政係）▽産業課農林商工係 宮森英明（税務課徴収係）▽国民宿舎会計係 中村謙造（民生課社会係）▽仙法志支所産業土木係 高山博通（産業課農林商工係）▽砕石事業所 鎌田喜男（仙法志支所産業土木係）▽利尻礼文消防事務組合派遣 笹原喜一（民生課社会係長）▽出納係 本波修悦（仙法志支所社会係）

◎新採用▽税務課徴収係 佐々木日出雄▽総務課総務係 中山律子▽総務課財政係 広島ゆみ子▽民生課国保衛生係 安田亜津子▽建設課建築係 葛西圭吾▽仙法志支所社会係 松森きみ子▽教育委員 会勤務 大野節子（順不同）（総務課総務係）

# 老人クラブ 仙寿会

## 勤労奉仕で植樹

老人クラブ仙寿会（会長 浜田 乙三郎）では去る九日緑を大切にの願いから、会員五〇名が協力してヤナギほか一〇〇本の苗木を勤労奉仕で公民館のまわりに一日がかりで植樹しました。

この樹が一日も早く大きく育ちますように町民みんなで折ってあげましょう。



### 善意ありがとうございます

ごぞいます

- |        |         |      |    |      |
|--------|---------|------|----|------|
| 仙法志字本町 | 吉田      | タキさん | 一金 | 五千円也 |
| 仙法志字久連 | 草間      | 孝子さん | 一金 | 五千円也 |
| 杏形字種富町 | 田村トキ子さん |      | 一金 | 一万円也 |
| 杏形字本町  | 角谷      | 和子さん | 一金 | 五万円也 |
- 御香典返しを廃して愛情銀行に預託されました。
- |       |    |      |    |        |
|-------|----|------|----|--------|
| 杏形字新湊 | 神田 | 義雄さん | 一金 | 一万五千元也 |
|-------|----|------|----|--------|
- 病氣御見舞のお返しを廃して愛情銀行に預託されました。
- |     |           |    |     |    |      |
|-----|-----------|----|-----|----|------|
| 小樽市 | 北海経済新聞社社長 | 荒木 | 源さん | 一金 | 十万円也 |
|-----|-----------|----|-----|----|------|
- 利尻町郷土館建設資金の一部にと寄付されました。

去る五月一日に発生した火災に際しましては、皆様方より多大なるご協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。なお業務は、前出張所構内に

稚内土木現業所  
利尻出張所長 小川 信夫

### 杏形警察官派出所長に

### 久光警部補が着任

去る四月の異動により、久光警部補が着任されましたので一言ごあいさつをおねがいます。



域住民の対話を進めたいと思っています。なかでもとくに交通事故の防止については渾身の努力をほらいたいと考えており、地域のみなさんの格段のご協力をお願いしたいと思っています。

交通事故死は二年連続全国一の汚名をうけ、当利尻町におきましても年ごとに車は増えており、交通情勢については安心できない要素を抱えています。

私は、四月の異動によりまして杏形警察官派出所長を命ぜられたした久光警部補であります。

前任地は十勝の新得署でありまして内陸という環境から磯の香りのすがすがしい利尻町で勤務することになり、生まれ故郷の函館の海とにて嬉しく感じております。

私が当面する課題として、交通事故の防止、少年の非行防止、地

老人と子供の被害者が多い当町の特徴を最重点として取り上げ、総合的な諸対策を積極的に講じて事故防止に努め、明るい社会生活環境の発展と治安維持の責任を全うすることを使命としておりますので、前任者同様ご協力をお願い申し上げます。

みんなで入りましょう

## 町民交通傷害保険



- |     |               |      |                         |
|-----|---------------|------|-------------------------|
| ☑対象 | 町民ならどなたでも入れます | ☑保険金 | 2,000円から50万円まで怪我の程度に応じて |
| ☑受付 | 毎日役場総務課       |      |                         |
| ☑料金 | 1人1ヶ月30円      |      |                         |

# 海難防止七ツの鉄則

これまでの多くの海難は、人災といわれており、お互いの努力や注意で防止できるものと考えられます。特に利尻両島の漁業者の多くは、五トン未満の小型船の一人乗りで、船長、漁労長、機関士、通信士もかねて出漁する為、ともすれば過労になりがちで、それゆえ

つい、手抜きをする。  
ルールを守らず無理をする。

この結果、思わぬところでケガをしたり、へたをすると生命をおとすことにもつながります。千変万化する海を職場とする漁業者は、海をなめてはいけません。今までの海難事故をふりかえり、海に学び、いかにして海に順応し実行してゆくか。これが海難防止上の大切な基本であります。

そこで海上の事故を防止するため守るべき基礎的なことを、七項目にまとめた、いわゆる「海難防止七ツの鉄則」を次に挙げてみます。

一、2隻以上の集団操業と相互救助体制の確立。船団指揮船の統制力強化。  
(1) 指揮船は、出漁、操業の可否、漁場切揚げ時期の判断をするため、絶えず気象、海象の変化に注意し、無線局と緊密な連絡を保ち、出漁船団を統率する。

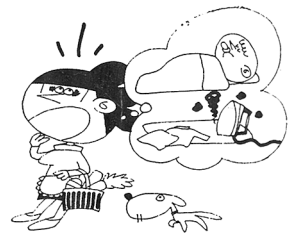
- (2) 出港から入港まで、必ず2隻以上で行動し、一匹狼的単独操業はさせない。
- (3) 出漁船は、絶えず無線機、トランシーバー等で連絡しあい、行動を起す場合は、性能からみて一番弱い船を基準にする。
- (4) 万一事故が発生した場合船がだめなら人だけでも救助する相互救助体制を確立する。
- 二、気象情報の早期入手と、早期避難体制の確立。  
(1) 指揮船は無線局から気象情報を早期に入手し、漁場における天候、海象を勘案し、少しでも操業が憂慮されるときは、早めに決断を下し、避難の時機を失わないよう、直ちに実行する。
- (2) 操業中天候が急変し、根拠地に帰港できないと判断された場合には、無理せず、ロープ、タイヤ等を船尾から流しつゝ、荒天航法し最寄りの安全な港に避難する。
- 避難した場合は、必ず組合や家族に連絡をする。
- 三、救命具の完全着用を促進。  
自分の命は、自らが守るという原点にたち、漁場の往復にも必ず救命具を着装する。
- 四、地域ぐるみ、家族ぐるみの海難防止体制の樹立。

- (1) 各地域別に責任者を選び、出漁の可否、船団の指揮者との連絡、単独出漁船の防止に当る。又、各部長も会員へ海難防止の徹底を図り、無謀な出漁を防止する体制を作る。
- (2) 家族も、生活がかまうているとはいえず、尊い人命や財産を守る為、婦人会等、横の連絡をとり、父、夫、子供等の無謀出漁をさせないように、海難防止体制を樹立する。
- 五、船体、機関、無線機器の整備点検と、緊留試運転、及び無線定時連絡の励行。  
(1) 出港前と帰港後は、少くとも15〜20分の緊留試運転をして機関の調子、無線機器の整備点検をして、異常の有無を確認する。
- (2) 無線電話設備船は、一定の時間帯をもって無線局と連絡をとり、又は、指揮船が一括して定時連絡をする等、通報義務体制を確立する。
- (3) トランシーバー設備船も、定時の時間帯を設定して連絡を確保する体制を作り、万々に備える。
- 六、衝突予防法、港則法に基く航法、特に行きあい、横切り、追越し、港内出入時の減速航行、出船優先などのルール厳守。  
(1) 漁場へ急ぐため、衝突事故を招くことがあるので、見張りを厳重にし、特に視界の悪い時などは、リーダーに頼りきらず、目と耳を十分働かせ衝突予防法の航法を厳守する。

- (2) 港内の出入港時、特に港口付近では減速して航行し、また出船優先のルールを守る。入港船は着岸前に1〜2回機関の停止、始動を繰返し、岸壁への衝突防止を試みる。
  - (3) 商船やフェリー等、大型船舶の前方を横切らないこと。
  - 七、転覆防止対策の樹立。  
(1) 小型船は、ちよっとした風波うねりで転覆する危険性があることを念頭におき、特にトップヘビーにならないよう漁具や漁獲物はデツキ積みにならず、荷くずれを防ぐ仕切り板を設けたダブルに整理して格納し、船体の重心を低くする。
  - (2) これまでの小型船の転覆事故は、荒天中に無理して漁具を揚げ、急いで帰る途中、大時化に遭遇して大事に至っていることを反省し、操業中に荒天が予想されたら、自船の性能からみて、漁具を中途で切り離してでも帰港するくらいの決断と実行が必要である。
  - (3) せっかく漁獲されたのだからといって積み過ぎは危険である。怒を出したら命とりになることを肝に銘じ、常に腹八分で転覆防止を図る。
- 「海難防止、誰でも知っている、忘れてる」  
稚内海上保安部鵜泊分室

## 慣れた火に新たな注意

◎外出するときは火の元の点検を!



保健シリーズ

素肌美のためには常に四つの条件を満足するよう育てていくことが絶対必要です。  
一、うるおい

ヒフの表面は乾燥させないでいつもしっとり潤いを保っていることが大切で。

潤いとはいってもなく水分で、生理的には汗腺から出る汗で、水蒸気の形で出ているもの

です。厚化粧はヒフ呼吸を妨げるからよくないなどといっているのもおしろいが水分を吸収したり表面からの蒸発を盛んにしてヒフの潤いを失うからいけないの

素肌美の四つの条件

です。

水分だけでは、もし大気が乾燥して、ヒフ面からの蒸発がはげしいと当然乾いてしまつて潤いは保てなくなりま

す。そこでヒフは一方に皮脂を皮脂腺から毛穴を通じて分泌するのです。この皮脂と水分とがヒフの表面で混つてクリームのような膜を作つて乾燥を防ぎ、潤いを保っているのです。

脂分が水分より多く、コールドクリームのような膜でおおわれると、その肌は脂性というこ

ムのような膜になって、乾性肌ということになります。

皮脂の量は、年齢、季節、食物などによって変わるの

を心得て、肌の手入れや、化粧品の使用の目安にしなければいけません。

たとえば、中年以後の秋から冬はどうしてもクリームが必要ですが、若い人の春から夏はクリームの使用がかえつてニキビの原因になって

肌を潤いを保つために是非とも、ヒフを乾燥させるような作用のある化粧品の使用には注意

が必要で。ヒフの清潔にかかせない石鹸、化粧水、おしろい類などい

ずれも肌の潤いを奪うので、使用前後の油脂分の補給など予防処置を忘れてはならないので



（杏形郵便局）

郵便局からおしらせ

郵便貯金預金者貸付のご利用を

今年一月から、いわゆる庶民金融といわれる郵便局の貸付けがはじまり、すでに多数のみなさまにご利用されております。

この貸付の特徴は、郵便貯金（定額・定期・積立）をしてあげば、いつでも、この郵便局でも、安い利率で、ハンコと貯金証書（積立は通帳）とをもつていけば、その場ですぐお金が借りられることです。しかも保証人はいりません。

用

- 1 急な旅行・転勤の引越し費用
- 2 病気の費用
- 3 慶弔があつた場合の費用
- 4 大学などの受験費・進学費
- 5 現金だと割引率の高い商品の購入
- 6 不時の家屋修理
- 7 車検の費用
- 8 家計の赤字補てん

このような場合に貸付を上手に利用されれば、せっかくの貯金をおろさなくても、有利な利率を得ながら、安心して資産づくりができますので、お気軽にご利用されるようおすすめします。



自昭48・1・1  
至昭48・4・30

◎健やかにご成育されますよう

出生者氏名 続柄 父 住所

- 関 雅人 二男 恩 新湊
- 山本 理奈 長女 栄治 本町
- 藤田 久 二男 清 本町
- 大腰 博之 長男 周平 日出町
- 高樋 道子 長女 敏行 神居
- 小倉 一彦 長男 康男 御崎
- 藤井 静代 二女 信幸 神磯
- 伴 博文 二男 静雄 御崎
- 安原 胤弥 三女 忠吉 泉町
- 安原 瑞弥 四女 忠吉 泉町
- 中川 春美 二女 幸雄 種富町
- 宮沢 学 長男 功 緑 町
- 神田有美子 長女 義秋 泉 町
- 伊藤めぐみ 長女 勝利 泉 町
- 杉田はるみ 三女 博邦 本 町
- 大山 栄子 長女 光男 久 連 町

◇末永く幸せを祈ります

- 北村 正人 仙法志字久連
- 佐藤 政子 仙法志字久連
- 栗田 隆三 仙法志字本町
- 八屋 信子 仙法志字本町
- 菅原 修 杏形字新湊
- 菅原 雅子 杏形字久連
- 大山 洋男 仙法志字久連
- 柳谷 光男 仙法志字久連
- 菅原 周治 杏形字本町
- 真木 満子 杏形字本町
- 谷 智晴 仙法志字御崎
- 中島 久恵 仙法志字御崎
- 藤野 達雄 仙法志字御崎
- 角 光子 仙法志字御崎

▼故人のごめふいくを祈ります

- 小泉 政次 杏形字泉町
- 松本 筈子 杏形字泉町
- 松谷 正園 杏形字泉町
- 沢谷 光子 杏形字泉町
- 樋屋敷一夫 杏形字泉町
- 山下 育子 杏形字本町
- 伊野 雅嗣 杏形字本町
- 加藤 智江 杏形字種富町
- 菅原 陽子 杏形字種富町
- 水橋 春三 杏形字泉町
- 浜塚 敏三 杏形字泉町
- 故人のごめふいくを祈ります
- 浜岸 清七 杏形字新湊
- 阿部 恒子 泉町
- 笹谷万太郎 栄浜
- 松尾 正治 本町
- 浜口 正 仙法志字政治
- 草間 金吾 久連
- 小杉 スナ 久連
- 吉田 利男 本町
- 長谷川キヨ 本町
- 中村二十三 本町
- 工藤カツミ 杏形字種富町
- 菅原 勘蔵 蘭泊
- 池原直次郎 新湊
- 七尾 進 種富町
- 川端安太郎 新湊
- 安井金次郎 本町
- 金田そたつ 杏形字緑町
- 斉藤 千代 種富町
- 佐々木スミ 新湊

◎出生届は 十四日以内  
◎死亡届は 七日以内

◎畜犬は必ずつなぎましよう

◎ゴミ捨ては指定場所

◎家のまわりはいつもきれいに